

当科の心臓麻酔の特長

当科では、年間700例を超える心臓血管麻酔関連の麻酔依頼があります。

中でも、心臓血管外科が7割を占めており、弁膜症に対する開心術、虚血性心疾患に対する冠動脈バイパス術、急性大動脈解離に対する人工血管置換術など、多岐にわたる心臓血管麻酔を経験・学ぶことができます。

近年、心臓血管外科では、低侵襲心臓手術にも積極的に取り組み、小切開心臓手術（MICS）やロボット支援下手術症例が増加しています。「ハイリスク症例＋最新の術式」を通じてより高度な循環麻酔管理を学ぶことができます。

また、先天性心疾患の手術症例も110-120例/年程度と豊富です。術前・術後評価のカテーテル検査の麻酔も麻酔科で管理しています。開心術の麻酔管理とあわせて、同患者の麻酔を担当することで症例をより深く学ぶことができます。

当院はハイブリット手術室を有しており、心臓血管外科による腹部大動脈瘤ステントグラフト(EVAR)、胸部大動脈瘤ステントグラフト(TEVAR)だけでなく、循環器内科による経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)、経カテーテル僧帽弁形成術、経カテーテル左心耳閉鎖術、小児科による小児心臓カテーテル検査・治療を数多く施行しております。

心臓血管外科領域だけでなく、循環器内科・小児循環器領域に関してもより多くの循環麻酔管理を経験することができます。

当施設は、日本心臓血管麻酔専門医認定施設であり、術前評価から術中の循環麻酔管理に関して上級医のバックアップ体制を確立しており、安心して資格取得を目指すことができます。心臓麻酔は、敷居が高い分野と思われるかもしれません。

しかし、「一人でも多くの人を助けたい」という高いモチベーションを持って手術に関わるスタッフで一丸となり働いています。

ぜひ一度見学におこしてください。